比較文化学特論Ⅱ Lecture Ⅱ (Comparative Studies)

科目コード(Course Number) 20DCSh02
文化科学研究科 School of Cultural and Social Studies　比較文化学専攻 Department of Comparative Studies　共通科目 Shared Lecture
学年(Recommended Grade) 3年　4年　5年
2単位(credit)　後学期 2nd semester

日高　真吾（HIDAKA　Shingo）

〔授業の概要 Outline〕
民俗文化財を対象に、その保全をどのように進めるのかについて、講義を通して理解を深める。次に実習として民俗文化財の保全のための基礎的な技術を体験する。また、演習として学生による民俗文化財の保全調査の報告をもとに議論する。なお、授業日程は、教員および受講者において日程を調整しながら実施する。

〔到達目標 Aim〕
民俗文化財の観点から、文化資源を取り巻く環境や状況について把握するとともに、それらを効果的に保存、活用する方法論を考察することで、論理的な思考と実践研究の視点を身につけることを目的とする。

〔成績評価 Grading criteria〕
・事前課題　20%
・購読での活動　30%
・実習での活動　30%
・最終発表　20%

〔授業計画 Lecture plan〕
１．ガイダンス
２．購読1「日本における文化財保存の歴史」
３．購読2「民俗文化財の資料分類について」
４．購読3「民俗文化財の保存事例について」
５．購読4「地域文化の再発見と保存と活用について」
６．実習1「民俗文化財のIPM活動について」
７．実習2「民俗文化財の観察実習1－蛍光X線分析について」
８．実習3「民俗文化財の観察実習2－マイクロスコープについて」
９．実習4「民俗文化財の観察実習3－X線透過試験について」
１０．実習5「民俗文化財の観察実習4－３Dスキャナーについて」
１１．最終討論

〔実施場所 Location〕
国立民族学博物館4F日髙研究室/共同利用型科学分析室

〔使用言語 Language〕
日本語

〔教科書・参考図書 Textbooks and references〕
石崎武編「博物館試料保存論」講談社
京都造形芸術大学編「文化財のための保存科学入門」角川書店

〔関連URL Related URL〕
URL:http://www.r.minpaku.ac.jp/s-hidaka/

〔上記URLの説明 Explanatory Note on above URL〕
地域文化について着目し、さまざまな地域でどのような文化が継承され、新たな文化が構築されているのかの実情を明らかにし、これらの動向に人間文化研究がいかに貢献しうるのかを考察し、現在（いま）への社会貢献、未来への社会貢献を視野に入れた研究活動を紹介

〔備考・キーワード Others/Keyword〕
保存科学